

事業所名 グループホーム町屋
運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 2020年 8月 24日(月)	
参 加 者 (意見照会)	議 題
利用者 0名	① 行事報告
利用者家族 1名	② 行事予定
地域住民の代表者 0名	③ 意見照会
市職員 1名	④ 身体拘束適正化検討委員会
地域包括支援センター職員 1名	⑤ 次回開催日
事業所 0名	
会 議 録	
<p>2020年8月24日に行う予定でしたが、コロナウィルス感染拡大防止により開催を中止しました。</p> <p>① 行事報告</p> <p>1号館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月2日 七夕の飾り付けをしました。折り紙で織姫、彦星を作りました。また、短冊や飾りを笹につけました。 ・7月16日 例年は流しそうめんを行っていましたが、今年はコロナウィルスの影響によりそうめんを昼食時に個別にご用意させて頂きました。昼食メニューはそうめんの他に稲荷ずし、天ぷらです。そうめん、天ぷらなどをお召し上がりになられお楽しみ頂きました。 ・8月24日 昼食時にうなぎを提供させて頂きました。利用者様もうなぎをととても美味しそうに召し上がられました。 ・8月25日 夏祭りを開催しました。利用者様には、輪投げ、折り紙で作った魚釣り、くじ引き、すいか割りをお楽しみ頂きました。夏祭り中、沢山の笑顔が多く見られました。 <p>2号館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月2日 七夕の飾り付け、おやつ時に七夕パフェをお召し上がり頂きました。 ・7月17日 例年は流しそうめんを行っていましたが、今年はコロナウィルスの影響によりそうめんを昼食時に個別にご用意させて頂きました。昼食メ 	

ニューはそうめんの他に稲荷ずし、天ぷらです。そうめん、天ぷらなどをお召し上がりになられお楽しみ頂きました。

・8月21日 施設にておやつ時に誕生日会を行いました。フルーツゼリーをお召し上がりになられ皆様でお祝いをさせて頂きました。

・8月24日 昼食時にうなぎを提供させて頂きました。利用者様もうなぎをととても美味しそうに召し上がられました。

午後からは、夏祭りを開催しました。利用者様には、輪投げ、水風船釣り、くじ引き、すいか割りをお楽しみ頂きました。夏祭り中、笑顔が多く見られました。

② 行事予定

1号館

- ・9月14日 誕生日会（3名）
- ・9月21日 敬老会
- ・9月22日 避難訓練（夜間想定）

2号館

- ・9月16日 避難訓練（夜間想定）
- ・9月18日 誕生日会
- ・9月25日 敬老会

③ 意見照会を行いました。ご意見ありがとうございました。

〈ご家族様〉

・新型コロナがまだ終息しない為面会をためらっています。他のご家族はどうされているのでしょうか？散歩も連れていきたいのですが。コロナ対策について施設の決定事項がはっきり分かると良いと思います。行動制限があり大変かも知れませんがよろしくお願いします。

ありがとうございます。事業所での面会に関する決定事項を9月14日付にて郵送させて頂きましたのでそちらの対応でよろしくお願い致します。

〈瀬戸市高齢者福祉課様〉

- ・身体拘束廃止のために行う方針の中で、「全員が一丸となって取り組むこ

と」がありましたが、バックアップ体制や共通認識の構築のために具体的にどのような取り組みを行っているか、教えていただきたいです。

ありがとうございます。まず、共通認識についてですが身体拘束の弊害を認識し、どうすれば身体拘束を行わずケアが出来るのかを管理者含め職員間で十分に話し合い、議論し、問題意識を共有していく事が必要だと思います。

話し合いの中で、その際に最も大事なものは利用者様中心という考え方です。身体拘束に対する基本的なことや、対応策、ケアの仕方をしっかり話し合いを行っています。

次に、バックアップ体制ですがまずは身体拘束を行わないという事を明確にする事です。職員に対しては、管理者が中心となり身体拘束をしないケアの仕方を説明、指導を行っています。職員の不安が解消される事で、安心して毎日取り組むことが出来ると思います。また、身体拘束適正化検討委員会を設置する事で、さまざまな議題を元に説明、話し合いを行い、ご家族様にも理解して頂けたらと思っています。

《やすらぎ地域包括様》

・特に意見はありません。今後ともよろしくお願いいたします。

ありがとうございます。今後とも、こちらこそよろしくお願い致します。

④身体拘束適正化検討委員会

◆まとめ

今回は、『身体拘束廃止のためにまずなすべきこと～5つの方針～』を行う予定でした。まず、当事業所は開設当初から身体拘束を行っていません。身体拘束を廃止し、身体拘束を行わずケアをするという目標を掲げ、職員に対して何が身体拘束に当たるのか、身体拘束を行わないケアの仕方などを日々の業務の中や会議、勉強会などを通じて指導し理解を深めてもらえるようにしています。今後も身体拘束を行わずケアを行っていきます。

⑤次回会議

未定